

2019 年度

C 級審判審査
筆記試験問題

C

(公財) 日本ハンドボール協会審判委員会

1. 競技の終了直前に、攻撃側プレイヤー B2 が相手のゴールエリアライン際でボールをキャッチしてシュートを打とうとしたが、違反により妨害された。B2 がボールを手から離す前に、競技の終了合図の笛が鳴った。
 - (a) 競技の終了
 - (b) B チームのフリースロー
 - (c) B チームの 7 m スロー
 - (d) 競技の終了とし、記録用紙にその旨を記載

2. レフェリーが B チームのフリースローライン際からのフリースローを A チームに与えた。その直後にタイムキーパーが笛を吹き、同時に時計を止めた。レフェリーが競技中断の理由を尋ねると、タイムキーパーは「A9 が不正交代をした」と答えた。
 - (a) B チームのフリースローライン際から A チームのフリースロー
 - (b) フリースローライン際から B チームのフリースロー
 - (c) A チームの交代地域前から B チームのフリースロー
 - (d) A9 の 2 分間退場

3. レフェリーが A チームに 7 m スローを判定した後、コートに入って 7 m スローを行うように指示された A27 が不正交代をした。
 - (a) B チームのフリースロー
 - (b) A チームの 7 m スロー
 - (c) B チームのゴールキーパーズスロー
 - (d) A27 を 2 分間退場

4. ゴールキーパー A1 がボールに飛びついてシュートを止めたが、ボールはプレーイングエリアに向かった。A1 はボールに追いついたが、ゴールエリアラインを滑り越え、プレーイングエリアで味方のプレイヤーにパスをした。
 - (a) B チームのフリースロー
 - (b) そのまま競技を続行
 - (c) 笛の合図の後に A チームのゴールキーパーズスロー

5. プレイヤーがジャンプしてボールをキャッチし、両足同時に着地した。その後、右足をあげて横に 1 歩ステップを踏み、左足を右足のところまで引きずり寄せた。このプレイヤーは何歩進んだことになるか。

- (a) 1 歩
- (b) 3 歩
- (c) 0 歩
- (d) 2 歩

6. フリースローライン付近で、ボールを持った A3 は B4 をかわした。A3 は 3 歩進んだところで明らかな得点チャンスを得てシュートを打とうとした。しかし、A3 は B4 に押されたために 4 歩目の足が床に着いた直後にボールを投げてシュートを決めた。このとき B チームの他のプレーヤーは誰も A3 のプレーを防御できない状況であった。

- (a) アドバンテージルールにより得点
- (b) B4 に段階的罰則を適用
- (c) A チームのフリースロー
- (d) A チームの 7 m スロー

7. ゴールキーパー A はシュートを止めた後、ゴールエリアラインの内側に立っていた防御側プレーヤー A3 の背中にボールがあたってゴールの中に入った。

- (a) B チームのフリースロー
- (b) B チームの 7 m スロー
- (c) A3 を警告または退場
- (d) B チームの得点

8. A チームがシュートを打った。ボールは誰にも触れずにクロスバーにあたって跳ね上がり、B チームのゴールエリア上方の付属設備にあたった。そこから、ボールは B チームのゴールキーパーのちょうど手の中に落下してきた。

- (a) ゴールキーパーズスロー
- (b) 再開の合図なしに B チームのスローイン
- (c) 再開の合図の後に B チームのフリースロー
- (d) 再開の合図の後に B チームのスローイン
- (e) 必ずタイムアウト

9. レフェリーの笛の合図に続いて、B2 が 7 m スローを行おうとしたとき、A5 がフリースローラインを踏み越した。A5 の違反にもかかわらず、B2 はシュートを決めた。

- (a) 得点とし、A5 を失格
- (b) 得点とし、A5 を退場
- (c) 得点
- (d) A5 を失格とし、7 m スローを再度実施

10. プレーヤーが違反により 2 分間退場となった。このプレーヤーがコートを出ていく途中でレフェリーを侮辱したため、レフェリーはレッドカードをあげた。このプレーヤーはひどく激怒してレフェリーを殴った。

- (a) ブルーカードを提示し、試合後、報告書を作成する。
- (b) チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らして競技しなければならない。
- (c) チームはコート上のプレーヤーを次の 2 分間さらに 1 名減らして競技しなければならない。
- (d) チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らして競技しなければならない。

11. 報告書の作成が必要とされるのは、どの罰則か。

- (a) 3 回目の 2 分間退場によるもの以外の失格
- (b) 注意以外のすべての罰則
- (c) すべての 2 分間退場・失格
- (d) 競技の終了間際に、得点機会を得るのを意図的に妨害するために行った、相手に危害を及ぼすような違反行為や著しくスポーツマンシップに反する行為
- (e) 極めてスポーツマンシップに反する行為による失格
- (f) 競技の終了間際に、相手が得点機会を得るのを意図的に妨害するために行ったすべての段階的罰則

12. 失格としなければならない違反はどれか。

- (a) チーム役員がレフェリーの許可なくコート内に入場する(2 回目)。
- (b) 速攻のとき、ボールを所持して走っているプレーヤーを引き倒す。特に危険な状況ではない。
- (c) 7 m スローのとき、静止しているゴールキーパーの顔面にボールをぶつける。
- (d) レフェリーの判定を不服として、ボールを観客席に投げ入れる。
- (e) ゴールキーパーはゴールエリアを離れ、相手チームのプレーヤーにパスされたボールを取るが、その移動中に相手と衝突する。

1 3. 失格（ブルーカードを提示する）となるのはどの場合か。

- (a) 休憩時間中のコート上での暴力行為
- (b) あまりに無謀な、またはあまりに危険な行為
- (c) 違反された後の報復行為
- (d) 競技の状況とかけ離れた意図的で悪質な行為

1 4. A9 は、完全にノーマークの状態で B チームのゴールエリアライン際に立ってパスを待っている。このチャンスに気づいたサイドプレイヤー A10 は、A9 にゴールエリアを横切るバウンドパスを出した。このピンチに気づいた防御側プレイヤー B3 は、完全に両足ともゴールエリア内に踏み込んで、パスを妨害した。B3 のこの行為は、この試合で 2 回目であった。

- (a) A チームのフリースロー
- (b) A チームの 7 m スロー
- (c) B3 に段階的罰則の適用

1 5. B チームは 6 名で競技していた。B チームのプレイヤーは攻撃隊形を整え、組立て局面に入っていた。この段階で、B6 と B8 は交代のためにコートから出ることにした。

- (a) パッシブプレーの予告合図
- (b) 5 秒以内に攻撃のペースが上がらなければパッシブプレーの予告合図
- (c) パッシブプレーの違反により、直ちに A チームのフリースロー
- (d) 繰り返しであった場合には B6 または B8 を警告
- (e) 繰り返しであった場合には B6 または B8 を 2 分間退場

1 6. 前半が 1 分早く終了した。そのとき、競技規則違反はなく、ボールはゴールエリア上の空中にあった。笛の合図の直後にゴールキーパーがボールをキャッチした。両チームのプレイヤーはまだコート内に残っていた。

- (a) その 1 分は競技しない。
- (b) その 1 分は休憩時間の前に競技する。
- (c) その 1 分は休憩時間の後、後半が始まる前に競技する。
- (d) その 1 分は後半の競技時間に付加する。
- (e) 競技を始めるときは、最後にボールを所持していたチームがボールを所持する。
- (f) ゴールキーパーで競技を再開する。

17. どこからスローオフを行えるか。

- (a) センターラインの後方 3 m 以内の自陣から
- (b) センターラインの前方 3 m 以内の相手陣から
- (c) コートの中央でセンターライン上に片足を置いて（左右に 1.5 m ずつの許容範囲）
- (d) センターラインのちょうど中央に片足を置いて（許容範囲なし）

18. B チームのゴールキーパーは自陣のゴールエリア内にいた。B チームのゴールライン際でノーマークの状態となっている A8 に向かって、A チームのゴールキーパーがボールを投げた。ボールが A8 に渡る直前に、タイムキーパーから笛の合図があった。というのは、この不運なタイミングで A チームのコーチがチームタイムアウトを請求したからである。どのようにして競技を続行すべきか。

- (a) A チームのゴールエリア際から A チームのフリースロー
- (b) A チームの交代地域前から A チームのフリースロー
- (c) A チームの 7 m スロー
- (d) B チームのフリースローライン際から A チームのフリースロー

19. A5 は 7 分 0 秒に 2 分間退場となった。競技が再開される前に抗議をして、2 分間追加の退場となった。そのちょうど 1 分後に A5 はコート内に走り込み、タイムキーパーが笛を吹いた。A5 は不正入場により、さらに 3 回目の 2 分間追加の退場となったため、失格となった。その直後、この判定に対してレフェリーを侮辱した。

- (a) A チームはコート上のプレーヤーを 7 分 0 秒から 8 分 0 秒まで 1 名減らし、8 分 0 秒から 10 分 0 秒まで 2 名減らし、10 分 0 秒から 11 分 0 秒まで 1 名減らす。
- (b) A チームはコート上のプレーヤーを 7 分 0 秒から 8 分 0 秒まで 1 名減らし、8 分 0 秒から 11 分 0 秒まで 2 名減らし、11 分 0 秒から 12 分 0 秒まで 1 名減らす。
- (c) A チームはコート上のプレーヤーを 7 分 0 秒から 8 分 0 秒まで 2 名減らし、8 分 0 秒から 10 分 0 秒まで 3 名減らし、10 分 0 秒から 11 分 0 秒まで 2 名減らす。
- (d) A チームはコート上のプレーヤーを 7 分 0 秒から 8 分 0 秒まで 2 名減らし、8 分 0 秒から 10 分 0 秒まで 4 名減らし、10 分 0 秒から 11 分 0 秒まで 2 名減らす。

20. ボールは A チームのゴールエリア内を転がっていた。このとき、タイムキーパーが笛を吹き、A5 が不正交代をしたと説明した。

- (a) ゴールキーパースロー
- (b) A5 を 2 分間退場
- (c) フリースローライン際から B チームのフリースロー
- (d) A チームの交代地域前から B チームのフリースロー

21. 競技規則により、レッドカードの後、ブルーカードを提示する失格となる違反はどれか。

- (a) プレーヤーが相手に唾を吐いて命中させる。
- (b) チーム役員が自チームに試合を放棄させる。
- (c) 7 m スローの実施に際して、ボールの方向へと移動させてはいないゴールキーパーの頭部にボールをぶつける。
- (d) レフェリーの判定の後、これ見よがしにプレーヤーが観客席にボールを投げ入れる。
- (e) コート外で、プレーヤーが観客に唾を吐いて命中させる。
- (f) プレーヤーが意図的に相手の腹部を殴る。

22. A チーム申請のチームタイムアウト中、B チームのチーム役員がタイムキーパーに対して、「得点を相手チームに入れることが多すぎる！何度も失敗するな！馬鹿野郎が！」と発言した。TD はこの一連の流れを把握していた。

- (a) タイムキーパーに対しての発言なので、何もできない。
- (b) TD がチーム役員に罰則を与える。
- (c) TD はレフェリーを呼び、チーム役員に対して罰則を与えるように促す。

23. B チームはゴールキーパー不在で、コートプレーヤー 7 名で攻撃をしている。B7 がシュートを打ったがボールは A チームのゴールキーパー A12 によって阻止され、A12 より速攻に出た A3 へ投げられた。A3 はボールをキャッチしシュートしたが、そのシュートは帰陣してゴールエリア内にいた B チームのコートプレーヤー B6 によって阻止された。

- (a) B チームの 7m スロー
- (b) A チームの 7m スロー
- (c) そのまま競技を続行
- (d) B6 に罰則を与える
- (e) 罰則は不要

24. A7 はシュートを打った後、ゴールエリア内に倒れ込んだ。レフェリーはタイムアウトを取り、A7 に「続けますか？」と尋ねた。A7 は「足をひねって動けません」と答えた。B チームに罰則はなかった。

- (a) A7 に罰則を与える。
- (b) レフェリーはジェスチャー 16 (入場許可) を示す。
- (c) A7 は治療のあとはそのまま競技を続けてよい。
- (d) A7 はコートから出なければならない。

25. A チームのゴールキーパー A12 の頭部に B2 が放ったシュートが直撃した。A12 はその場に倒れ込み、レフェリーは A チームの役員に入場許可を与えた。

- (a) コート上での治療行為なので、A12 はコート外に出なければならない。
- (b) 治療が短時間で終わり、続行が可能であれば A12 はそのままコートに残ることができる。